

第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会  
（第7回）議事要録

- 日時 平成29年12月19日（火）19時04分～20時51分
- 場所 市役所西棟8階812会議室
- 出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、早川峻委員、高橋豊委員、村井寿夫委員、藻谷征子委員、塩澤誠一郎委員、島英二委員、興梠信子委員、木村文委員、千綿澄子委員、平田昭虎委員、山崎君枝委員、越智征夫委員、島森和子委員、新垣俊彦委員、花俣延博委員  
事務局（恩田副市長、木村参事他）  
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊部長他）、傍聴者 0名
- 欠席 高橋健一委員、高石優委員、岡田敬一委員
- 配布資料 1. 第13回作業部会（9月20日開催）以降の動向について  
旧クリーンセンター事務所棟・プラットホーム再利用範囲について  
2. 「市役所北エリア中間まとめ」（案）  
3. 武蔵野クリーンセンターを会場としたイベントについて

#### 1. 副市長挨拶

- ・新副市長より挨拶を行った。

#### 2. 第13回作業部会（9月20日開催）以降の動向について

- ・第13回作業部会（9月20日開催）以降の動向について事務局より説明を行った。
- ・説明に対する質疑等はなし

#### 3. 旧クリーンセンター事務所棟・プラットホーム再利用範囲について

- ・旧クリーンセンター事務所棟・プラットホーム再利用範囲について事務局より説明を行った。

○委員 この耐震基準についてわかりやすく説明していただきたい。

○事務局 耐震基準1.0は阪神・淡路大震災、東日本大震災程度でも倒壊しないレベルと言われている。ただし、1.0の場合には建物は倒壊しないまでも建物の変形はあり得る。1.25は、さらに強度を増すことによって一定程度機能維持ができるというレベルである。さらに1.5は、この西棟が1.5だが、防災拠点ということで、ある程度大きな地震が来ても機能が維持できるレベルが1.5と言われている。おおむね市の学校や避難施設、クリーンセンターについては1.25を市の基準にしているという考え方をご理解いただきたい。

#### 4. 市役所北エリア中間まとめ（案）について

- ・市役所北エリア中間まとめ（案）について事務局より説明を行った。

○委員 低炭素社会モデルという言葉が一般の人にはなかなかわかりづらい。「市役所北エリア整備の基本方針」のところはわかりやすく書いてあるが、「施設・周辺整備の方針」はわかりにくい表現になっているので、文章をもう少し短くしたり見出しをつけたりして整理できないか。それ

から13ページ上から4行目、5行目、「低炭素社会モデル」のところの項目で、文字が大きくなったり小さくなったりしているのは何か意味があるのか。

○事務局 今のご意見を参考に、また作業部会で議論したい。フォントが合っていない部分は最後の成案のときには修正する。

○会長 文字も消えているところもある。垣根の「根」がなかったりするの、あとで全部読み直したい。例えば温暖化が異常気象とどう結びついているかという部分をどう書き込むか、最後の13ページの書き方だけでいいのかどうかという点も、個々の過程でのエネルギーの消費の仕方も関係してくる。最終的なものに向けて、きちんと洗練されたこの会議らしい文章に皆さんでしていきたいと思うので、またご協力をお願いしたい。

○委員 資料3について、コミュニティ交流エリアの囲みの表示をもう少しテニスコートのほうに出していただきたい。相互理解を進める深めるために、今年からコミュニティ協議会もこのテニスコートを使った取り組みをしていることもあるので、踏み込んでいいと思う。それからIの北東エントランスは入り口の両脇の生け垣が子どもの背丈くらいになっており、見通しが悪いのでそこは改善したほうがいいという意見を出させていただいたので、そこを明示的に知ってもらいたい。それからJのエリアには花壇を整備し、その花壇を市民参加で管理していくという提案をさせていただいたので、その1文をこの下につけ加えていただきたい。同じく41号線の側のふれあい広場に通じる園路は基本的には歩行者の園路とし、41号線の側に自転車レーンを検討してほしいという提案も三丁目からしたので、それも加えていただきたい。

○委員 テニスコートも野球場も災害時にドアがあいて避難者が入れやすいということもあるので、テニスコートと野球場も災害エリアゾーンになるとさらにいいのではないかなと思う。

○事務局 Hの上に「災害時避難」という矢印があるが、この門については施錠を災害時に簡単に壊せるように、どういう方法がいいか検討しているので、今年度中にはここが開けられるようには考えていきたい。またテニスコートの施錠はまだ考えていなかったが、今後も協議をしていきたいと思っている。

○委員 コミセンの角から史料館のところまでをセットバックしていただきたいということで、ぜひこれは周辺協議プラス武蔵野市役所としてNTTのほうに話を持ちかけていただきたい。

○事務局 市としてやってほしいとはクリーンセンターの所管だけでは言える内容ではないので、まずは計画内容についてはお聞きし、また協議会の議論や周辺の交通問題などの課題について申し上げたところである。

○会長 企業のCSRという新しい価値をつくっていくことも今問われており、国際的にSDGsという動きもあるので、皆さんで声を上げて、周辺まちづくりにそういう意見もなるべく盛り込めるようにしたいと思う。

## 5. クリーンセンター環境啓発イベントについて

- ・クリーンセンター環境啓発イベントについて事務局より説明を行った。

## 6. その他について

- ・工事のお知らせについて事務局より説明を行った。

○委員 環境省の基準はグレーページとかステンカラーなどか。

○事務局 ステンカラーという金属のシルバーもしくは銅色の落ち着いた色でネットも茶色にす

る。緑もあるが目立つのと、光るということもあり、2月から1カ月ぐらいかけてこのかたちで施工させていただきたいと思う。委員のゾーニング（案）に、これができる後にどうしていかうかというところの提案もあるので、今後また議論していきたいと思う。工事に入ることについてはご了解いただきたい。

○**会長** 最後に委員の方でお願いで、2月19日1時からJICAの研修で私が住民参加によるクリーンセンターの施設について話をするのだが、皆さんもぜひ参加してほしい。午前中はクリーンセンターを見学し、午後からたぶんクリーンセンターの一番市役所側から離れたコーナーでお話をさせていただくと思うのでよろしく願います。

○**委員** 次回以降、作業部会等で第4章の周辺まちづくりを皆さんと一緒に議論することになると思うので、議論の前提として頭出しをさせていただきたい。基本的には、この3本の柱でまとめることと、一本目の低炭素社会にモデルの実現のところで低炭素化のまちづくりとは何だろうということをお皆さんと一緒に議論するのが一番重要だと思っている。多分低炭素まちづくりの基本になるのは、一般的にはエネルギー利用を減らす、エネルギーの使用量を減らすということと、あるいは再生可能エネルギーに代替していくことで、まちづくりという面で言うと自動車交通を減らすということは端的に低炭素化につながると言われているので、なるべく歩いて暮らせる、自家用車を使わないで済むまちづくりを行っていくことが基調になると思う。さらにCO<sub>2</sub>の吸収源としての緑化を進めることになるかと思う。それに照らしてこのまちづくり、この周辺のまちづくりを検討していくことだと思う。地域力の向上については柱で言い切れるのではないか思っていて、あとは低炭素化社会のまちづくりというところと「まちづくりの連携」に書いてあった具体的な施設が、それに向けて大事にしたい場所や施設、道であるということを22ページの図に示している。そういった観点から、前回の作業部会で成蹊学園も大事な場所として加えてほうが良いというご意見もあったので加えたほうが良いと思っているが、皆さんにしっかりと次回以降意見を出していただいて議論していただきたい。7月の協議会で「30年度後の武蔵野市の姿」について議論し、これに向けて我々責任ある行動を今からしましょうということを確認したと思う。その下から4番目、「その結果、廃棄されるごみが減りクリーンセンターの焼却量が現在の半分以下になっている。その次、「市から排出されるCO<sub>2</sub>の現在の半分になっている」となっているが、市の今ごみの減量化の計画では30年後半分になっていくことにはなっていない。またCO<sub>2</sub>に関しても市の低炭素社会づくり行動指針では30年後に半分になることは目標になっていないので、この調整はいずれ必要になってくる。せっかく副市長が来てくださったので、その点を伝えておきたい。

○**委員** 絵本のかえっこをやっているが、小中学校から出てくる廃棄図書を何とかする方法を何かうまくアレンジしてほしい。また緑化について、例えば市役所側の歩道のヤマボウシが今半分くらい枯れている。移植したのも調子が悪いので、荏原さんが管理をされているのか、そこは市役所管理かという樹木関係の話も結果は公表してほしい。それから、壁面緑化のかん水装置が冬場もそのまま動いている感じがするが、メンテナンスをしているかということ、屋上のリサイクルガーデンの雑草はどうなったのかということも公表していただきたいと思う。

○**事務局** 緑化の件についてはメンテナンスがうまくいっていないところを感じており、瑕疵責任を含めて経過観察をしているところであるので、また機会をとってご報告したい。屋上のリサイクルガーデンは、運用上も事業者の課題であるので、そこも含めてまた皆さんにご報告する。図書館の件については調べてみる。